

週刊 **タバコの正体**

喫煙者が吸い込む主流煙に比べ、燃えているタバコの先からでる副流煙の方がはるかに有害であることは何度か紹介してきましたが、その副流煙を無理やり吸わされるのが「受動喫煙」です。

表 | 受動喫煙に起因する肺がん・虚血性心疾患による年間死亡数

「職場の喫煙対策」サイトより

受動喫煙を受ける場所	疾患	受動喫煙起因年間死亡数	
		男性	女性
家庭	肺がん	201人	1,131人
	虚血性心疾患	206人	1,640人
職場	肺がん	448人	340人
	虚血性心疾患	1,366人	1,471人
小計		2,221人	4,582人
合計		6,803人	

方法：日本の人口動態統計(2008年)などのデータを用いて、受動喫煙に起因する肺がんおよび虚血性心疾患による年間死亡数を推計  
 独立行政法人国立がん研究センター「喫煙と健康」WHO 指定研究協力センター  
 受動喫煙による死亡数の推計について(解説)：2010[L20110523024]より作図  
 (http://www.ncc.go.jp/information/pdf/20101021\_tobacco.pdf)

上の表は、そんな受動喫煙が原因だと思われる死者が全国で年間6803人もいる事を示しています。他人のタバコのせいで、これだけの人が命を落としていると思うと、とても気の毒です。特に家庭における死亡数が男性に比べ女性の被害が5倍以上もあるのは、夫の喫煙が妻に影響している事を物語っています。



ところで、もう一つのグラフを見てください。こちらは交通事故による死者数を示しています。なんと受動喫煙で亡くなる人より2000人以上も少ないのです。つまり、「交通事故」より「受動喫煙」の方がはるかに危険なわけです。

交通事故の怖さや悲惨さは誰もが想像できますが、タバコの怖さはなかなかイメージできません。だから、ひそかに人々の健康と命を奪うタバコの怖さを知らない人が沢山います。そこで、少なくとも皆さんにはこの事実を知っておいてもらい、できればこの事をいろんな人に伝えて欲しいと思っています。

産業デザイン科 奥田 恭久